

本時のねらい

- ・数式の中で文字を使うことの必要性和意味を理解する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・学習アプリを活用することで、自分のペースで学習できる。
- ・自分の入力した答えが正解であるかどうかすぐに分かる。
- ・自分のペースで学習を進めていくことで、生徒の意欲が高まり、達成感や、自信をつけることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット端末
- ・大型モニター
- ・教員作成のスライド (パワーポイント)
- ・学習アプリ (ベネッセ社ドリルパーク)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (15分)	○「正負の数」の復習 教員から配信された問題を各自で解く。 【写真1】	学習アプリを活用することで、自分のペースで復習を進めていくことができる。 教員もすぐに生徒の学習状況・達成状況がわかる。
展開 (25分)	○1つの文字を使って表す数量について考える。 ・小学校で学習した内容を想起させる。 ・「文字を使うと、リンゴの個数が変わっても、すべての場合をまとめて表せることができるね」 ⇒ 数式の中で文字を使う便利さを理解する。 【写真2】	スライドを使って説明することで、視覚的に分かりやすく、授業を進めることができる。
まとめ (10分)	○演習問題に取り組む。 ○授業のふりかえりをする。 ・「文字式」について確認をする。 ・配信された問題に各自で取り組む。 【写真3】	問題を解くためのヒントを大型モニターに表示しておく。 学習アプリを活用することで、自分のペースで今日の授業内容を定着させていくことができる。 進度が異なる場合もあるので、他の問題に取り組むように指示を出すことで、学習の個別化を図る。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】
学習アプリで前時までの復習をしている様子
教員はすぐにフォロー出来る。



【写真2】
スライドを使っての文字式の説明を聞いている様子。苦手な生徒も前を向いている。



【写真3】
学習アプリで本時の授業内容の定着をはかっている様子。

児童生徒の反応や変容

- ・学習アプリを使うことで、自分のペースで学習を進めることができた。
- ・学習アプリに答えを入力すると、すぐに正解が分かることで、生徒にとっては達成感が得られやすく、次々に問題を解く姿が見られた。
- ・スライドで視覚的に文字式の仕組みを説明することで、苦手な生徒にとっても理解しやすい環境になった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・生徒たちが自分のペースでタブレット課題に取り組むことで個別の支援がしやすい。また、進度が生徒によってちがうので、生徒自身に問題を選ばせることで意欲的に取り組ませることもできた。
- ・スライド資料を使うことで、視覚的にわかりやすくする支援を行うことができた。